

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2018 年 7月 5日

東京大学での所属学部・研究科等:	工学部	学年(プログラム開始時):	学部4
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	国立台湾大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職		2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
	3. 公務員		4. 非営利団体
	✓ 5. 民間企業(業界:建築)		6. 起業
	7. その他( )		

派遣先大学の概要

台湾大学では、台湾において最も優秀な大学で、歴史と文化の授業特に有名です。公開授業を多数ネットでも公開している。

留学した動機

東京大学で建築を習っているうちに、地域の歴史や文化についてもっと習いたいという思いがありました。台湾大学では、歴史と文化が特に有名です。中国語が自分の母国語なので、授業の内容を短時間にうまく吸収できるという考えもあり、台湾大学に留学することを決めました。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2017年	学部4	年生の	夏	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2017年	9月~	2018年	6月	
	学部4	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2018年	学部4	年生の	冬	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2018年	学部4	年生の	7月頃に	行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			73.5	単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			0	単位
	留学後の取得(予定)単位			73.5	単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2014年	4月入学	2019年	3月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5年		0ヶ月間		
⑨留学時期を決めた理由:					

大学院に進むか、仕事につくか少し迷いもありまして、そして学部生の中に基礎的なものを幅広く勉強したいという思いで4年の冬学期から留学に行くことを決めました。

## 留学準備

### ① 留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

手続き上も必要ですが、まず学科先生と何回か相談に行くことです。就職か院試などについてアドバイスを先にもらっておくことが大事です。

### ② ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

台湾大学から受け入れ書類の郵便物が届くのが少し遅れていましたが、その後のビザはそれほど時間がかかりませんでした。

### ③ 医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

学内の健康診断を早めに受けといて、出発前三ヶ月以内になったら証明書類を出すのをお勧めします。

### ④ 保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

東京海上日動保険に参加していました。

### ⑤ 留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

研究テーマを留学先で決めるという思いで、卒業論文のテーマについて研究室の先生と定期的にメールで、やりとりをしました。

### ⑥ 語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

特にしていません。

### ⑦ 日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

夏服を多めに持って行くことをおすすめします。冬は半月も続きません。

## 学習・研究について

### ① 履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
花卉学実習 Practice of Floriculture	1				
東亞藝術史概論 Introduction to the Arts of China, Japan, Korea	3				
羽球中級(選修體育) Badminton-Intermediate (elective course of	1				
中國繪畫史 Introduction to the History of Chinese Painting	3				
環境生態學及實習 Environmental Ecology and Lab.	3				

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

どの授業もグループワークが多くて、Facebookのグループ機能などを使って、週一に台湾の学生とグループディスカッションして、レポートを一緒に仕上げるのがたのしかったです。人気の授業の履修は、くじ引きなどで制限される場合があります。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

授業において、予習と復習が求められています。ceibaというネット上の教育システムで、予習プリントなどの授業資料が載せてあって、予習と復習を週1, 2時間、そしてグループディスカッションを週2, 3時間使っています。

④学習・研究面でのアドバイス

CeibaやMessengerやKahoot!などのネットツールがよく使われています。そして、授業において共同作業が多くて、他人の意見からひらめきを感じたりすることがあります。東大での勉強と違うような経験が得られると思います。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

特にありません。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

Guoqing Dormitoryに泊まっていました。学内の寮で、料金も一番安いところです。二人部屋で、ベッドが収納のダンスの上にあります、階段を踏んで登ります。部屋が少し狭いですが、それほど不便を感じたことはありません。同じ階の外にトイレとシャワールームと洗濯室があります。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

学内外に食事するところが多くて、本屋さんも多く、近くに大きいジムがあります。川沿いにも近いです。とても便利です。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

治安はとてもいいです。医療費は国民健康保険に加入されないため、かなりかかります。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

食費	10,000NTD	航空賃	2,000NTD
交通費	1,000NTD	書籍代	7,000NTD
教科書代	300NTD		
家賃	2,000NTD		
娯楽費	2,000NTD		

・留学に要した費用総額とその内訳

月 60,000JPY \* 10 月 = 600,000 JPY

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

Fung Scholarshipから月六万円頂いております。

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

作曲サークルに入って、毎週木曜七時から九時までの授業に参加していました。学校の授業と同じ感じで、先輩が教壇に立って教えて、後輩が下で聞いて習います。他の時間で自分で曲を書いたりサークルメンバーと練習したりしました。演奏発表の他に、他の大学や組織と交流活動も何回かありました。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

まずウェルカムパーティが全留学生を対象に開かれます。そして寮には山登りやボードゲームなどのイベントがあって、学科には食事会などがありました。英語の授業がこれから増えていきそうです。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

図書館の自習室が24時間オープンになっています。ジムにある水泳場でコーチが教えてくれたりします。食堂にバリエーションが多いです。設備はとても便利と言えます。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

就職活動に参加できないのが一番大きなデメリットです。大企業はネット面接が通じないことがありますので難しいですが、もし行きたいところが小規模のところでしたら、早めに連絡をとり、帰国後の夏休みに面接を受けておいてもいいと思います。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- |  |                          |
|--|--------------------------|
|  | 1. 研究職                   |
|  | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名: ) |
|  | 3. 公的機関(機関名: )           |
|  | 4. 非営利団体(団体名又は分野: )      |
|  | 5. 民間企業(企業名又は業界: )       |
|  | 6. 起業(分野: )              |
|  | 7. その他( )                |

## 留学を振り返って

### ①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

自分に一年間の余裕をあげることで、勉強生活の他にもいろいろ楽しい体験を通じて、よりリズムのいい生活ができるようになった感じがしました。

### ②留学後の予定

台湾大学で学んだ他分野の知識を趣味がてらに続けて勉強したいと思います。そしてこの一年間に学んだ生活リズムをこれからも保って、職業に活かしたいと思います。

### ③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

自分について考えさせる自由で貴重な一年間になりますので、難しいことでも恥ずかしいことでも、ぜひ今までしたことのない体験をたくさんしてみましょう。

## その他

### ①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

<http://ocw.aca.ntu.edu.tw/ntu-ocw/>

### ②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。